

会議記録

●会議名 令和8年度 第1回丹波市社会教育委員の会議

●日時 令和8年5月27日（水）13：30～15：30

●場所 柏原住民センター

●出席者 別添「出欠票」のとおり

●内容

- 1 開会（社会教育・文化財課長）
- 2 あいさつ（教育部長）
- 3 委嘱書の交付（教育長から各社会教育委員）
- 4 自己紹介
- 5 役員選出
 - （1）丹波市社会教育委員の会議
選考委員（山内順子委員）（足立まゆみ委員）
議長
⇒荒木伸雄委員を選出
副議長
⇒森奥和代委員を選出
 - （2）丹波地区社会教育委員協議会
会長
⇒荒木伸雄議長を選出
理事
⇒森奥和代副議長
監事
⇒山内順子委員を選出
 - （3）兵庫県社会教育委員協議会
代議員
⇒足立まゆみ委員、足立 進委員を選出
 - （4）丹波市立文化ホール推進会議
⇒土田光一委員を選出
 - （5）丹波市立隣保館運営員会
⇒森奥和代委員を選出

6 報告事項

(1) 令和8年度社会教育事業計画について

- ・担当課長から説明（P 6～P 12）

【質問・意見】

委員	部活動の地域展開に向けた取組の推進の目的欄にスポーツを継続できる環境整備とある。 文化芸術の分野は他のページにも説明があるが、8ページで文化芸術の部活動も含んでいると考えたらいいのか。
学校教育課副課長 委員	吹奏楽部や放送部等の文化部の部活動も含んでいる。 文言として文化芸術も含めてもらえれば分かりやすい。
委員	9月から土日の部活は地域展開になる。体験会が6から8月に開催されると聞いている。体験会の保護者への説明は中学校単位で開催しないのか。中学生の保護者とこれから中学生になる小学生への説明が必要ではないか。 地域の中では疑問や不安に思っている保護者もいる。送迎のこと等のQ&Aはあるが、不安に感じている。
学校教育課副課長	まず文書での周知が基本、次にホームページで周知を行う。学校から子どもたちに丁寧に説明をしている。子どもの意見も吸い上げながら考えている。
委員	地域展開後も教育委員会が管轄するのか。
学校教育課副課長 委員	地域展開後はまちづくり部の管轄になる。 全国高等学校女子硬式野球選手権大会について、参加高校の指導者と話す機会があり、淡路会場周辺は宿泊施設が多いが、丹波市内は少ないと聞いた。丹波市のフォローが追い付いていないのではないかと。 女子高校生がプレーしやすい環境を作ることが一番だと思う。 令和7年度大会の決勝に残ったのは、福知山市の学校と丹波市に宿泊した学校だった。試合当日早朝から丹波市の球場に来るのに時間的に有利だったのではないかと。

文化・スポーツ課長	令和7年度は全日本女子野球連盟と丹波市が主催だったが、令和8年度からは全日本女子野球連盟が主催したいと強い要望があり、全日本女子野球連盟が主催で、丹波市と淡路市が共催になった。一自治体が担う業務範囲として、チーム数が増えて限界に達しているためである。 大会に向けて練習している生徒のために、市として全力でプレーできる環境整備に努める。
委員	硬式野球の練習ができる場所も少ない。 高校のグラウンドを開放できるよう調整できないか。
文化・スポーツ課長	丹波市内ではつかさグループいちじま球場と春日スタジアム、氷上総合運動公園に限られている。 今後調整したい。
議長	高齢者学級の補助金交付要綱の改正があったことについて、ある団体からこの補助金について何とかならないかと聞いている。 改正内容や、補助金の在り方について、どのように伝えているのか。
市民活動課長	令和7年度までの補助金算出方法は補助対象経費の1/2以内までだった。高齢者学級は青垣地域を除く5地域あり、支給率の不均衡の話があった。 新要綱では、会員一人当たり、2,640円の補助と補助対象経費の1/2の低い方を補助することに改めた。 3月末に予算が可決され、その後、団体との話し合いの場を設けた。4月にも話し合いの場を設け、市の考え方や補助内容や補助申請方法等について、5団体の代表者に丁寧に説明し、概ね理解いただいた。

・担当課長から説明（P13～P15）

【質問・意見】

委員	美術館の入館者数が増えたと聞いている。 低年齢のこどものお母さんとの話題にもなっている。 はしもとみおさんの彫刻展が良かった。遊ぶコーナーもあって、親しむことができた。 こども目線の企画があったら教えて欲しい。
----	---

社会教育・文化 財課長	令和7年度は入館者が2万人を超えた。はしもとみお展が好評だった。 令和8年度はこども向けの展覧会として、ひつじのショー展を計画している。 そのほかの企画展でも、うえびファミリープログラムとしてファミリーデー、ピクニック、学芸員の仕事を学ぶ博士ツアーを開催する。展示室で親子で寝転んで鑑賞する企画も実施している。 年間を通じて謎解きクエストというクイズラリーも実施する。
委員	親しみを感じる図書館づくりとして、SNSによる情報発信等、新しいことを取り入れてもらっている。 地域資料の収集は、古いものから新しいものまで幅がある。保存できる場所は確保されているのか。
社会教育・文化 財課長	収集できる仕組みがきっちりと確立されていない。 リスト化することや受け入れがなかなかできておらず、保管場所も十分ではない。 保管場所も整理しながら受け入れ方法も検討しつつ、取組を進めていきたい。
委員	資料の保管場所について、各地の自治公民館の倉庫に保存されていたり、蔵で保管されている事例もある。 少なくともどこにあるかを把握し、情報のまとめ役として図書館が機能していれば、図書館の中に詰め込む必要はないと考える。 丹波市みんなの図書館プランでは、郷土資料をたんばし電子図書館の独自資料として登録するとなっている。 紙は劣化するので、その集積したデータが図書館にあれば一つの方法になると考える。 紙資料の保管場所が図書館とは限らないと考える。
社会教育・文化 財課長	物理的な保管場所についてのアドバイスをいただいた。 電子データで保管することや地域で保管されている資料をどう把握するのか等、取組を進めたい。

7 協議事業

(1) 令和8年度社会教育関係団体補助金について

・担当課から説明

⇒2団体とも提案のとおり承認

8 丹波市の社会教育委員の会議の研究テーマについて

「地域の大人が学びながら関わる場づくりと、関わる人を増やす方策」(案)
～地域学校協働活動と通じて～

⇒令和8年度の展開について

【質問・意見】

議長

令和7年度は人権教育の住民人権学習のあり方についてテーマ研究を行った。

令和8年度研究テーマ(案)について、地域学校協働活動の中で活動に関わる人を増やしたり、その場づくりがどうあったらいいのかということの研究テーマにした。

先ほどの説明の中で、市内全ての小学校と中学校2校に地域学校協働活動推進員が配置されたとあった。ここに地域がどのように関わっていったらいいのかということだと思う。

このテーマを2年がかりで取り組みたい。

社会教育は教育委員会の施策の中でも幅が広く、いわゆる大人の学びがほとんどになる。その中でもこのテーマに絞って委員の皆様から意見をいただきたい。

これは地域づくり活動として地域での展開が求められる訳で、このテーマを改めて提案したく、皆様の意見をいただきたい。

委員

自分の自治会内に小学校がある。その小学校にも地域学校協働活動推進員が配置され、もともと地域プログラムを考えて実践されている方が地域学校協働活動推進員になられた。

地域の財産として、こども達の存在が大きい。人づくりや地域づくりの一翼を担うのが学校の存在であると思う。当該小学校は児童数が少ない学校ではあるが、地域の学校に対する思いを共有しながら進めていく取り組みはありがたいことである。

委員

自分の地区の小学校は統合し、令和8年4月から新しい小学校になった。学校運営協議会も開催されたところ。学校に関わる人は同じ人ばかりで、その他の人を巻き

込む方法を学校とも相談した。

こども達のために何か行事をしようと提案しても、負担が増えるという意見もある。身近な家族が関わる場合は、前向きな意見をいただくことがあり、一人でも真剣になってもらえるのはいいことだと思っている。

自分がこどもの頃の運動会は近所の方が作ったお弁当をみんなで食べていたが、今はそのような地域のつながりも希薄になっていると感じている。

こどもが少なくて小学校がなくなった地域では、こどもとの距離感が離れていっている。

多くの方の意見を取り入れながら考えたいので、この案でテーマ研究を進めたい。

委員

今期から社会教育委員になったばかりで、社会教育について、自分が思っていた以上に興味がある。

研究テーマをどうするかについては、なかなかすぐに意見が言えない。

議長の提案に基づき、研究するのがいいと思う。

委員

研究テーマとして、この案でいいと考える。

委員

この案は研究テーマとしていいと思う。

学校運営協議会に関わっている立場として考えると、学校と地域の関わりのバランスをとることが難しい。

地域の立場から学校に関わっていると、先生方の負担になっているのではないのかと考えることもある。

青垣地域の場合、小学校4校が統合したタイミングで学校運営協議会が設置された。

市内でも小学校の統合があり、1つの自治協議会に対して1つの小学校がある状況ではなくなってきているところが増えており、学校運営協議会の運営が難しくなっている。

地域学校協働活動推進員は各地区に一人ずつの配置が必要だと思う。中学校区内には複数の地区（自治協議会）があるので中学校で地域学校協働活動の取組を進めることが難しいのだと思う。

地域の人にとっては、学校はまだハードルが高い。このハードルをどう下げるかということと、先生の負担をどう下げるのかがこれからの課題だと思う。

先生の率直な意見も拾い上げながら、この案でテーマ研究を進めたい。

議長

難しいテーマだが、皆様の意見を聞いていると研究を進めることができそうだと思う。

第2回目の会議では話し合う時間を確保できそう。

第3回目の会議は令和9年度の社会教育計画について協議を行う予定である。

皆様の同意をいただいたということで、この案でテーマ研究に取り組むこととし、今後の研究の進め方については、ある程度預からせてもらうことになるだろう。

学びの場づくりや関わる人を増やすことは、どんな団体やどんなフィールドであったとしても共通することなので、委員の皆様の活動にも返って行くことだと思う。

よろしくお願いします。

9 その他

(1) 全国・近畿・県等関連行事

⇒次第参照

(2) 各課からの連絡事項

⇒案内チラシにより各種事業を紹介

(3) その他

・次回：令和8年8月20日（木）午後に開催 ※会場は未定。

・まなびカフェ（オフミーティング）について（議長提案）

⇒不定期で任意参加のオフミーティングを開催していた。

連絡網を作るので、もしよかったら参加してほしい。

出席は任意で費用弁償も発生しない。

委員の皆様と社会教育に関する話をしたい。

令和8年度も開催してよいか？ ⇒良い。

10 閉会（森奥副議長）